

ゼミ紹介

(酒井ゼミ / 情報マネジメントコース)

「使える」情報システムのデザイン

酒井 恵光

何をやるゼミ？

- システム作り
 - 対象となる問題の分析
 - システム設計
 - プログラム作成
 - ウェブサイト作成
- “Geek” なゼミ

ゼミにおけるシステム作り

こんなものを作りたいけど、
どうすればできる？

- アドバイスはできます
- 実際にやるのは自分

何を作りましょう？

- 相談はできます
- 実際に決めるのは自分

「やりたいこと」がないと、しんどい

「つくる」ために...

■ 「つくる」ための技術

■ 「教わる」だけでは不十分

→ 自分であれこれためしてみる

- プログラミングの教材(本、ウェブページ)はたくさんある
- まずは自分から動いてみる
- わからないことは調べ、それでもわからなければ、どんどん聞いてみる

■ 何を「つくる」か？

- 自分で考える
- 好奇心のアンテナを広げよう

ゼミでのプロジェクト

- タイピングコンテスト
 - 運営スタッフ
 - 必要なアプリ類の開発
- その他
 - IoT関連企画
 - 小型機(Raspberry Pi など)を用いたシステム開発
 - スマホ・タブレットアプリ
 - 特定地域向け・非汎用アプリ
 - 企画の提案は歓迎

ゼミまでの学び

- コンピュータ基礎(コンピュータ概論、基礎演習):
わかっている/できることが前提
- プログラミング基礎(プログラミング論、プログラミング演習): 未経験・未履修の場合、3年次に学ぶこと

ゼミでの学び(予定)

■ 3年

- 前期: タイピングコンテスト(企画・準備・進行)
- 夏休み: ITパスポート準備、課題を決めた学習
- 後期: システム開発実習(共通テーマ)
- 春休み: 卒論に向けたテーマ設定

■ 4年

- 前期 ~ 10月頃まで: システム設計・開発
- ~12月: 開発内容をもとに卒論執筆

これまでの卒論テーマ例

- iPadで動作する楽器アプリ
- 気象庁の地震データの表示システム
- 寺院向け情報管理システム
- 情報アシスタント用電子マニュアル
- 慶聞館の3Dモデル化とその活用

ゼミ希望者は

- まずはメールで連絡・面談
 - 希望日時を(いくつか)出してください
 - 自分の氏名を忘れずに
- 課題(後述)
 - とりあえず話しに来ても構わない
 - ダメ出しの可能性もあり



課題

- 地域情報を提供するアプリの提案
 - 特定の地域・特定の目的で情報を得るためのアプリとその使い方、作るために必要なことを調べ、考える
 - 例：地下鉄烏丸線の駅から徒歩5分以内にある郵便ポストの情報を提供する
 - 類似アプリ・サービスについて調べ、自分の提案との共通点・違いを述べる
 - そのアプリで得られる利点(何がうれしいか)を述べる
 - 実現のために必要なことは何かを述べる
 - 説明のための資料を必ず作成する(形式は自由)



連絡先

- 個人研究室：慶聞館5F 523
- e-mail
 - echo@res.otani.ac.jp

